

速報 国公立大入試結果「前期・独自日程+推薦・総合」(3/19現在)

 **東高3年生 がんばった!**

国公立大 **64名** 合格

難関の東北大にも合格

国公立大の前期日程までの合格者が発表され、一般入試の「前期日程」と一部の公立大の「独自日程」で43名、「推薦・総合型選抜」で21名の合計64名が合格しました。この結果は、本校の過去5年で比較しても善戦と言えます。特に、地元の福島大、福島県立医科大(看護・保健科学(新設))などで合格者数が増加しました。また、「難関大」の東北大にも4年ぶりに合格しました。

「後期・中期日程」の発表は、明日20日以降になりますが、今月末の追加合格発表も含め、今後さらに合格者が増えることが期待されます。最終的な詳しい入試結果については、4月以降にお知らせします。

1 一般入試 前期日程・独自日程 43名合格

東北大1名(文) 福島大11名(人間4 経済2 行政3 理工1 食農1)

大学	学部・学類	学科	合格
東北大	文	人文社会	1名
福島大	人間発達	心理・幼児1 教育実践1 特別支援2	4名
	経済経営		2名
	行政政策		3名
	共生システム理工		1名
	食農		1名
山形大	工	応用化学	1名
	農	食料生命環境	1名
宇都宮大	国際	国際	1名
	農	生物資源科学	1名
新潟大	人文	人文	1名
	工	情報電子	1名
岩手大	人文社会	人間文化	1名
	農	森林科学	1名
宮城教育大	教育	中等・理科	1名
信州大	教育	学校・数学	1名
秋田大	国際資源	資源地球科学	1名

北海道教育大	釧路校 教育	教員養成	1名
	函館校 教育	国際・地域政策	1名
釧路公立大	経済	経営	1名
青森公立大	経済経営	経済2 経営1 地域未来1	4名
群馬県立女子大	文	英米文化	1名
岩手県立大	総合政策	総合政策	1名
	社会福祉	人間福祉	1名
宮城大	食産業		1名
山形県立保健医療大	保健医療	看護	1名
山梨県立大	国際政策	国際コミュニケーション	1名
秋田県立大	システム科学	機械工1 情報工1	2名
	生物資源科学	応用生物科学2 アグリビジネス1	3名
新潟県立大	国際地域	国際地域	1名
三条市立大	工	技術・経営工	1名

2 推薦型・総合型選抜 21名合格

福島県立医大 8名(看護2 保健科学(新設)6) 福島大 8名

大学	学部・学類	学科	合格
福島大	人間発達	教育実践1 芸術表現・音楽1	*2名
	経済経営		2名
	共生システム理工		3名
	食農		1名
福島県立医大	看護		2名
	保健科学	放射線2 臨床検査1 理学療法1 作業療法2	6名
会津大	コンピュータ理工		1名
茨城大	人文社会	人間文化	1名
	工	情報工	1名
宮城大	事業構想	価値創造デザイン	1名
長野大	社会福祉学部	社会福祉学科	1名

*印は「共通テストを利用するタイプ」の入試

◆ 国公立大は『二次力』が勝敗を分けたか？

文系は善戦したが、理系(工学系)では苦戦も・・・

工学系は数Ⅲ、理科、英語の強化が絶対必要

今年から導入された共通テストは、当初、難化が予想されていましたが、国英数が比較的取り組みやすい内容であったため、5教科総合(900点)の平均点は、昨年度のセンター試験を上回りました。また、コロナ禍の影響が大きく、全国的に安全志向や地元志向がだいぶ強まったと思われます。この結果、本校で受験者の多い地方国公立大は、合否のボーダーライン上に人が集中し、個別学力試験(「二次試験」)の出来が最終的な勝敗を分けたと思われます。特に、理系の理工学系では、数学、理科、英語の二次試験に対応する高い学力が求められました。数学、理科、英語の強化が合格には必要不可欠です。



特集2 進路関係行事 実施報告

合格体験発表会 3月16日(火)5・6校時

昨年はコロナによる休校のために中止となった「合格体験発表会」ですが、今年度は、放送により以下のように実施されました。6名の卒業生より、それぞれの受験勉強や進路選択についての体験談を話してもらいました。1、2年生には、大変有意義な時間になったと思われます。

日時：3月16日(火)5・6校時

対象：1、2年生全員

司会進行・機器調整：放送部

講師：3年生6名

① 安田 龍之介 さん	福島大	経済経営学類	公募推薦
② 溝井 綾乃 さん	福島県立医大	保健科学部	公募推薦
③ 松本 拓海 さん	福島大	行政政策学類	一般前期
④ 西東 茉佑子 さん	福島大	食農学類	一般前期
⑤ 渡辺 里都 さん	新潟大	人文学部	一般前期
	新潟県立大	国際地域学部	独自日程
⑥ 中村 優太 さん	新潟大	工学部	一般前期



【 放送室での発表の様子 】



感想と今後に向けた決意表明（2学年）

発表会を聴いた2年生の感想の一部を紹介します。

- どの先輩も同じく、「日々の積み重ね」を話していて、1、2年生の時から毎日の授業に集中して取り組むことや、課題への取り組みが大切だと改めて気づけた。1年後に後悔しないような1年を過ごしたい。
- 基礎ができていればだいたいできるという言葉が胸に響いた。
- 今後のためにも2年の春休み期間のうちできるだけ大学の情報を集めたいと思った。基本的な勉強習慣から見直さなければいけないと思った。
- 時間は有限で悔やんでからじゃ本当に遅いので、一日一日を大切にしようと思った。また、理系の進学先であっても英語は不可欠なので、毎日のすきま時間は英語に費やそうと思う。
- 先生方にも言われていたことだが、やっぱり目の前にあるものをこなし、さぼらないことが大切だと感じた。課題は「やればいい・・・」という考えを捨て、自分のために解く。
- 私は苦手科目から逃げていることが多いので逃げずに向き合っていきたいと思った。学校の参考書やワー

- ク類を活用しきれていないので、これからの家庭学習で活用したい。
- 今やっている課題の重要性が今回とてもよく分かった。自分の生活の中に、当たり前にも勉強時間を取り入れることを目標にしていきたい。
- 自分が理解できなかった問題を解くだけでなく、「友達に教える」ということを実践してみたい。積極的に先生に質問に行きたい。理解したら、次は友達に説明してみようということをやってみよう。
- どの先輩も言っていた「早く始めろ！」ということが、一番大事ではないかと思った。「苦手の克服」と「基礎固め」が最も先にやるべきことだと思った。
- 先輩方のほとんどが日々の失敗や後悔をしていたが、それでも今の私より勉強量をはるかに多く、自分の受験への甘さを痛感した。
- 大学について、ネットやパンフレット、SNSを用いて調べ、モチベーションを上げることに繋がったり自分に必要なことを確認したりすることが大事だと感じた。
- 合格しているにも関わらず受験や勉強に後悔していることが多くあるということが印象的で、「もっと早く始めておけばよかった」という言葉が1年後の自分の姿のようで焦りを感じた。

◎ 新3年生へのメッセージ！

体験発表をしてくれた6名から、最後に、新3年生へのメッセージをいただきました。

- 安田 龍之介 さん
模試は本番のように。本番は模試のように。勉強も自分の体も大切に！みなさんなら絶対にできる！大丈夫！これからも頑張ってください、応援しています。
- 溝井 綾乃 さん
“授業を集中して受ける”これが一番の勉強方法です。最後まで諦めずに頑張ってください！！
- 松本 拓海 さん
一度、受験を経験して、自身の準備不足を痛感しました。みなさんには、十分な準備をし、緊張に勝る自信を手に入れてほしいです。応援しています！
- 西東 茉佑子 さん
基礎はミルフィーユのようにたくさんの積み重ねたぶん、最後には極上の達成感を味わうことができます。あきらめずに頑張り続けてください。
- 渡辺 里都 さん
時間は本当にあっという間に過ぎます（本当だよ）。みなさん、合格を勝ち取れるよう頑張ってください！
- 中村 優太 さん
理系・工学部を目指していたにも関わらず、数Ⅲを2月に始めました。正直、なんで間に合ったかわかりません。みなさんは無謀なことはしないでください。一年かけて、二次対策を頑張ってください。



【 最後に講師6名で記念撮影 】